不思議現象に対する態度とレジリエンスとの関連 (3) ⁱ

不思議現象に対する態度 (60)

○小城英子¹・坂田浩之²・川上正浩²(¹ 聖心女子大学文学部・² 大阪樟蔭女子大学学芸学部)

キーワード：不思議現象, 態度, レジリエンス

The relation between attitudes towards paranormal phenomena and resilience (3); Attitudes towards paranormal phenomena (60)

Eiko KOSHIRO¹, Hiroyuki SAKATA² and Masahiro KAWAKAMI²(¹ Faculty of Liberal Arts, University of the Sacred Heart, ² Faculty of Liberal Arts, Osaka Shoin Women's University)

Key Words: Paranormal Phenomena, Attitudes, Resilience

目 的

不思議現象信奉に関する先行研究では、不思議現象を信じていないことが科学的態度であるという暗黙の前提が置かれていたが、宗教と同様に不思議現象を信奉することによってウェルビーイングが高まる可能性もあり、一概に否定されるものではない。本研究では、不思議現象に対する態度とウェルビーイングを媒介する可能性のあるレジリエンスについて、不思議現象に対する態度との関連を検討する。

方 法

調査対象者 中部圏のN大学に所属する大学生143名(男性59名, 女性84名; 平均年齢: 20.0歳, $SD = 1.18$)が調査に参加した。

調査時期 2016年9月および2017年9月に実施された。

調査方法 質問紙調査

調査内容 坂田他(2016)の因子分析結果にもとづく不思議現象に対する懷疑尺度51項目に, APPIE SE/30の「懷疑」を除く25項目を加えた, APPIE改訂版76項目を用いた。APPIE改訂版は, 「占い・呪術嗜好性」「スピリチュアリティ信奉」「娯楽的享受」「恐怖」「霊体験」「懷疑」(以下「懷疑(新)」「信奉者批判」「知的好奇心」「社会的現実を根拠とした否定」「中立」の10下位尺度によって構成される。また, レジリエンスを測定する尺度として, 平野(2010)による二次元レジリエンス尺度21項目が使用された。本尺度は, 資質的レジリエンス要因として「楽観性」「統御力」「社交性」「行動力」の4下位尺度, 獲得的レジリエンス要因として「問題解決志向」「自己理解」「他者心理の理解」の3下位尺度の, 計7下位尺度によって構成される。

結 果

APPIE改訂版の10下位尺度を用いてクラスタ分析を行い, 回答者を「信奉層」「娯楽的享受層」「一般層」「盲目的懷疑層」「批判的懷疑層」「無関心層」の6クラスタに分類ⁱ, クラスタを独立変数, レジリエンスの7下位尺度を従属変数とする一元配置分散分析を行った。その結果, 「楽観性」($F_{(5,95)} = 2.72, p < .05$)と「問題解決志向」($F_{(5,95)} = 2.16, p < .10$)において有意差と有意傾向が認められた(Figure1~2)。下位検定の結果, いずれも「無関心層」に比べて「盲目的懷疑層」において低い傾向が認められた。

考 察

これらのことから, 実は不思議現象に対して恐怖を抱きつつ, その恐怖を打ち消すために盲目的に不思議現象を否定, 反動的に信奉者を批判する「盲目的懷疑層」は, レジリエンスが低い可能性が示唆された。この結果は坂田他(2017)の知見とも整合的であり, 不思議現象を信奉することによって結果的に精神的健康が維持されている可能性や, 批判的思考の低さが恐怖や不安といったネガティブな感情を喚起し, 結

果的に精神的健康の低さと結びついている可能性を提示している。

文 献

川上正浩・小城英子・坂田浩之(印刷中) 不思議現象に対する態度と協調的幸福感との関連 (1) 不思議現象に対する態度 (57) 日本社会心理学会第59回大会発表論文集

小城英子・坂田浩之・川上正浩 (2017). 不思議現象に対する態度改訂版尺度の妥当性検証 (2) 不思議現象に対する態度 (52) 日本社会心理学会第58回大会発表論文集, 149.

小城英子・坂田浩之・川上正浩 (印刷中) 不思議現象に対する態度と協調的幸福感との関連 (2) 不思議現象に対する態度 (58) 日本社会心理学会第59回大会発表論文集

坂田浩之・川上正浩・小城英子 (2017). 不思議現象に対する態度とレジリエンスの関連 不思議現象に対する態度 (53) 日本社会心理学会第58回大会発表論文集, 150.

ⁱ本研究の一部は科学研究費補助金基盤C「不思議現象と心理学教育(課題番号15K04038 研究代表者 小城英子)」の助成を受けた。

ⁱⁱ小城他(2017)においては5クラスタに分類していたが, 同一データを再分析した結果, 「盲目的懷疑層(無関心層)」を「盲目的懷疑層」と「無関心層」に分離した計6クラスタが妥当と判断した。

Figure1. 楽観性におけるクラスタ比較 * $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$ Figure2. 問題解決志向におけるクラスタ比較 * $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$